

12月 モニターレポート	
担当区間	区間14：木津川中流両岸11.5キロ
モニター実施日時	令和2年12月3日（木）13時～
天候	晴れ

（見出し）

今月は開橋～山城大橋の両岸をモニターしました

12月になるのを待ちかねて木津川の様子を見に行きました
 モニター活動にもだいぶ慣れてきて
 楽しくやらせていただいています
 堤防の草木はすっかり枯れてしまい、冬の装いとなりました



モニターになってから看板や標識を注意深く見るようになりました
 例えばこの場所が、
 木津川と普賢寺川との境界地点だということや、
 管理者がここで変わる（国土交通省⇄京都府）ということも
 この札がなければわからなかったでしょう



現場に設置の看板や案内板は、
 河川事務所の広報活動の一環だと思います
 これからも地域住民に広く分かりやすく
 情報を伝えてほしいと願っています

サイクリングロードの傍らに
草内の渡し跡の碑がありました



木津川には渡しの痕跡がとても多いです

山城大橋下の草内グラウンドで
少年野球チームが試合をしていました



このグラウンドは京田辺市役所の施設の様ですが
有料のグラウンドだけにきれいに手入れされています



さて対岸の鐘付樋門からの眺めです
水かさがけっこう多くなっていました



このあたりは水辺が近く、対岸には広い砂浜もあります
12月なので、さすがに人の姿はありませんでした
流れのギリギリまで近寄ってレポートしたいと思いましたが、
河原へ下りる道がわかりませんでした、残念です



鐘付樋門の周辺は芝生がいい感じに冬枯れて
ゴミは全く落ちていませんでした



いただいた地図を見ると、玉水橋から山城大橋までの右岸には
直轄の管理施設がたくさんあるようです
保守管理が容易にできるよう、
草刈りなどをキチンとされているのがわかりました
いつも本当にご苦労様です
他の施設もまたいつかレポートしたいと思っています

以上で12月のレポートを終わります。

今回もモニター報告をありがとうございます。

現在のような大きな橋が出来る前はもっと川側に小さい堤防があって、兩岸の渡し船があちらこちらにあったとお地蔵さんのお世話をされていた地元の方からお聞きしたことがあります。

私たち職員は河の管理について規則があるため、四角四面に考えがちですが、昔から河を利用して生活しておられる方が沢山いらっしゃったのですよね。違う目でも見ないといけませんね。そして下流で雨が降っていなくても上流で降っていたり、ダム放流していたりで水かさが多いときがありますが、そんなときはあまり水際まで行かないでください。

これから寒さもまだまだ厳しくなりますので、防寒対策をしっかりとって頂いてモニター活動をしてください。次回も楽しみにしています。